安全データシート

（表紙）

化学品及び会社情報

製品名	**グレモ™SC**
販売会社名	丸和バイオケミカル株式会社
住所	東京都千代田区神田須田町 2-19-23
担当部門	開発本部　登録・環境グループ
電話番号 ／ FAX	Tel:　03-5296-2313　　Fax:　03-5296-2323
推奨用途	殺虫剤
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可

緊急連絡先：03-5962-9731（9時～17時　土日祝を除く）
公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒110番　365日24時間対応

	一般市民専用電話 （情報料無料）	医療機関専用有料電話 （1件2000円）
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート（SDS）を参照してください。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2023/11/01	800080003721	初回作成日: 2023/11/01

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)ＳＤＳを熟読され、ご理解されるようお願いしております。この SDS は、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。この SDS は、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : グレモ™ SC

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報
製造業者/輸入業者
コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類
水生環境有害性 短期（急性） : 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 2

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

™ ®コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

注意書き : **安全対策:**

P273 環境への放出を避けること。

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
メトキシフェノジド	161050-58-4	20	4-(7)-2520
プロピレングリコール	57-55-6	8	2-234
ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム	577-11-7	0.49	2-1623, 2-1620 2-(4)-384

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15～20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

眼に入った場合 : 眼を開いたまま 15～20 分水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

飲み込んだ場合 : 緊急医療措置は必要ない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。

応急措置をする者の保護 : ばく露する可能性がある場合は、第 8 項の保護具の情報を参照。

医師に対する特別な注意事項 : 特別な解毒剤はない。
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行

う。
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	水噴霧 耐アルコール泡消火剤 二酸化炭素（CO2） 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	:	知見なし。
特有の危険有害性	:	燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
有害燃焼副産物	:	有害燃焼副産物 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。 燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない： 炭素酸化物
特有の消火方法	:	安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。 区域から退避させること。 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。 保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	適切な安全設備を用いること。追加情報として、第８項、暴露防止及び保護措置を参照。
環境に対する注意事項	:	環境への放出は必ず避けなければならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 汚染された洗浄水を保管し、処分する。 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。 粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。 回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質 が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸化剤
強酸
強塩基類

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
メトキシフェノジド	161050-58-4	TWA (Respirable fraction)	3 mg/m3	Dow IHG
		TWA (吸入性画分)	10 mg/m3	Dow IHG

設備対策 : 空気中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。
許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具 : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。
許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。
特定の作業や物質の空気中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。
緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

手の保護具

備考	:	長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。 望ましい手袋の素材の例： ネオプレン。 ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。 ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル)。 注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。
眼の保護具	:	安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	:	清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	液体
色	:	淡茶色
臭い	:	淡い
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
融点/ 範囲	:	188.85 ° C
凝固点		データなし
沸点／沸騰範囲	:	693 ° C
可燃性（固体、気体）	:	非該当
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	データなし
引火点	:	方法: 密閉式, 密閉式引火点試験 データなし
pH	:	7.07 含有量: 1 %
蒸発速度	:	データなし
自然発火点	:	データなし
粘度		
動粘度（動粘性率）	:	データなし

溶解度
水溶性 : 3.3 mg/l (20 ° C)

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度
密度 : 1.168 gPcm3 (25 ° C)

相対ガス密度 : データなし

爆発特性 : 非該当

酸化特性 : 5℃を超える顕著な温度上昇なし。

粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。
危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。

避けるべき条件 : 知見なし。
混触危険物質 : 強酸化剤
強酸
強塩基類
危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：
炭素酸化物
窒素酸化物(NOx)
塩化水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: 推定値。

急性毒性（吸入） : 備考: LC50 は決められていない。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: 推定値。

成分:

メトキシフェノジド:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 4.3 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 到達可能な最高濃度。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

プロピレングリコール:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC50 (ウサギ): 317.042 mg/l
曝露時間: 2 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,100 mg/kg
備考: 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ, オス): > 10,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚腐食性／刺激性

成分:

メトキシフェノジド:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

プロピレングリコール:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激なし

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

成分:

メトキシフェノジド:

種	:	ウサギ
結果	:	眼への刺激なし

プロピレングリコール:

種	:	ウサギ
結果	:	眼への刺激なし

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種	:	ウサギ
結果	:	腐食性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

成分:

メトキシフェノジド:

種	:	モルモット
アセスメント	:	皮膚感作性なし。

プロピレングリコール:

種	:	ヒト
アセスメント	:	皮膚感作性なし。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種	:	ヒト
アセスメント	:	皮膚感作性なし。

生殖細胞変異原性

成分:

メトキシフェノジド:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。, 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

プロピレングリコール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。, 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

発がん性

成分:

メトキシフェノジド:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

プロピレングリコール:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性

成分:

メトキシフェノジド:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

プロピレングリコール:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。, 動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
入手可能なデータは、催奇形性を起す可能性を評価するのに十分ではない。, 入手可能データは、胎児毒性を起す可能性を評価するのには不十分である。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

成分:

メトキシフェノジド:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

プロピレングリコール:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

反復投与毒性

成分:

メトキシフェノジド:

備考 : メトヘモグロビン血症を起こし、血液の酸素運搬能力が損なわれることがある。
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
血液。
肝臓。
腎臓。
甲状腺。

プロピレングリコール:

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

備考 : 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

誤えん有害性

成分:

メトキシフェノジド:

物性上、誤えん有害性は低い。

プロピレングリコール:

物性上、誤えん有害性は低い。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 :

備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種ではLC50/EC50 1～10 mg/L)。

EC50 (ユスリカ類 (Chironomus riparius)): > 1 - 10 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: 推定値。
備考: 成分の情報による：

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 160 mg/l
曝露時間: 48 h
備考: 製品として。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に毒性。

成分:

メトキシフェノジド:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 4.2 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3.7 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 流水式試験

方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

EC50 (ユスリカ類 (Chironomus riparius)): 0.257 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 3.4 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 2.4 mg/l
曝露時間: 33 d
試験タイプ: 流水式試験

最大無影響濃度 (Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノー)): 2.6 mg/l
曝露時間: 32 d
試験タイプ: 流水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.39 mg/l
エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 流水式試験

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): 10,000 mg/l
曝露時間: 30 min

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 1,213 mg/kg
曝露時間: 14 d

地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2250 mg/kg 体重

混餌 LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 5620 mg/kg 餌

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 マイクログラム/蜂
曝露時間: 48 h

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 マイクログラム/蜂
曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性）	:	水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性 長期（慢性）	:	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

プロピレングリコール:

魚毒性	:	LC50 (Oncorhynchus mykiss（ニジマス)): 40,613 mg/l 曝露時間: 96 h 試験タイプ: 止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 203
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	LC50 (Ceriodaphnia dubia（ミジンコ)): 18,340 mg/l 曝露時間: 48 h 試験タイプ: 止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 202
藻類／水生生物に対する毒性	:	ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata（緑藻)): 19,000 mg/l エンドポイント: 生長率阻害 曝露時間: 96 h 方法: OECD 試験ガイドライン 201
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	:	最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia（ミジンコ)): 13,020 mg/l エンドポイント: 子孫の数 曝露時間: 7 d 試験タイプ: 半止水式
微生物に対する毒性	:	最大無影響濃度 (Pseudomonas putida（シュードモナス - プチダ)): > 20,000 mg/l 曝露時間: 18 h

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

魚毒性	:	LC50 (Oryzias latipes（オレンジレッドカダヤシ)): 68 mg/l 曝露時間: 96 h 方法: 方法不特定.
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): 6.6 mg/l 曝露時間: 48 h

残留性・分解性

成分:

メトキシフェノジド:

生分解性	:	結果: 易分解性ではない。

備考: 生分解率は、順化により、土壌や水中で高くなるだろう。

水中での安定性 : 分解半減期: 802 d (25 ° C) pH: 7

光分解性 : 速度定数: 3.895E-11 cm3/s

プロピレングリコール:

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性。
生分解: 81 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window:合格

生分解: 96 %
曝露時間: 64 d
方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの
備考: 10-day Window:非該当

生化学的酸素要求量 (BOD) : 69.000 %
インキュベーション時間: 5 d

70.000 %
インキュベーション時間: 10 d

86.000 %
インキュベーション時間: 20 d

化学的酸素要求量 (COD) : 1.53 kg/kg

ThOD : 1.68 kg/kg

光分解性 : 速度定数: 1.28E-11 cm3/s
方法: 推定値。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生分解性 : 結果: 易分解性。
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

接種: 活性汚泥、非馴化
生分解: > 60 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window:不合格

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル

速度定数: 2.31E-11 cm3/s
方法: 推定値。

生体蓄積性

成分:

メトキシフェノジド:

生体蓄積性	:	種: 魚類 生物濃縮因子（BCF）: 11.0 曝露時間: 28 d 方法: 測定値
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	log Pow: 3.72 (25 ° C) 方法: OECD テストガイドライン 107 あるいは同等のもの 備考: 生物濃縮の可能性は中程度。（BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5）

プロピレングリコール:

生体蓄積性	:	生物濃縮因子（BCF）: 0.09 方法: 推定値。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	log Pow: -1.07 方法: 測定値 備考: 生物濃縮の可能性は低い。（BCF < 100 または Log Pow < 3）

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生体蓄積性	:	種: 魚類 生物濃縮因子（BCF）: 3.47 - 3.78 方法: 測定値
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	log Pow: 1.998 備考: 生物濃縮の可能性は低い。（BCF < 100 または Log Pow < 3）

土壌中の移動性

成分:

メトキシフェノジド:

環境中の分布	:	備考: 土壌中移動性が中程度である(Koc 150～500)。

プロピレングリコール:

環境中の分布	:	Koc: < 1 方法: 推定値。

備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
土壌中移動性がきわめて大きい(Koc 0～50)。

オゾン層への有害性

成分:

メトキシフェノジド:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

プロピレングリコール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

メトキシフェノジド:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性･生体蓄積性･毒性(PBT)があるとは考えられていない。 この物質は、極難分解性･極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

プロピレングリコール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性･生体蓄積性･毒性(PBT)があるとは考えられていない。 この物質は、極難分解性･極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性･生体蓄積性･毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方

公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Methoxyfenozide)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9
環境有害性	:	該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Methoxyfenozide)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	Miscellaneous
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	964
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger aircraft))	:	964

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Methoxyfenozide)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9
EmS コード (EmS Code)	:	F-A, S-F
海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant)	:	該当(Methoxyfenozide)
備考	:	Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩	>=0.3 - <1	2026 年 4 月 1 日以降
プロパン－１，２－ジオール	>=3 - <10	2025 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
プロパン－１，２－ジオール	2025 年 4 月 1 日以降

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
１-ターシャリ-ブチル-１-（３，５-ジメチルベンゾイル）-２-（３-メトキシ-２-メチルベンゾイル）ヒドラジン	807	20

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

Dow IHG : ダウ社内ガイドライン

Dow IHG / TWA : 時間加重平均

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意のX%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実 施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関.LC50 - 50%致死濃度.LD50 -50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: XF-00176

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA